

「東北国際物流戦略チーム」設立趣意書

平成19年 8月

社団法人東北経済連合会
国土交通省東北地方整備局
国土交通省東北運輸局

東北地方は、北米、北東アジアに近いという地理的優位性があり、かつ急速に発展している中国を始めとするアジア地域と北米を結ぶ最短ルートの中継地点に位置している。国際流通経路が大きく変化している中で、東北における戦略的国際物流体系の構築による効率的かつ合理的な国際・国内物流の実現が、日本においても重要な課題となっている。

平成17年11月に閣議決定された「総合物流施策大綱（2005-2009）」において、国際物流については、主要港湾・空港を抱える地域の関係者による「国際物流戦略チーム」を設置し、地域の実情を踏まえた施策の推進を図ることとしている。

国土交通省では、平成17年2月、中国など東アジア地域の生産拠点・消費市場としての急速な成長、これら地域との水平分業の進展等を踏まえ、今後の国際物流施策のあり方を検討するため、省内に事務次官を本部長とする「国際物流施策推進本部」を設置し、4月には、「今後の国際物流施策の課題」、7月には課題に対応する具体的施策、そして昨年7月にはそのフォローアップを発表したところである。

一方、東北経済連合会では、平成12年度に交通運輸委員会の下に「戦略的国際物流検討委員会」を設置し、東北における国際物流体系の構築に関する報告書を取りまとめ、提言を行っている。

しかしながら、国際物流を取り巻く環境は、中国を中心とした東アジア地域における経済交流の拡大や京都議定書発効による環境対策強化の要請など、その情勢が大きく変化している。このため、昨年7月「戦略的国際物流検討委員会」を再度設置し、これらの変化に対応し、かつ、荷主の観点に立った戦略的な物流の推進に関わる検討を行い、本年3月には報告書を取りまとめ、提言とその実現を図るための取組みを発表したところである。

このような状況を鑑み、産学官で連携し、国際物流のボトルネックの解消に向けた対応と国際物流と国内物流が一体となった効率的で総合的な物流体系を構築するため、「東北国際物流戦略チーム」を設立するものである。